

## 提案依頼書

### 1. 件名 :

「HEROs AWARD 2026」 表彰式典の企画運営及び広報等に係る業務委託

### 2. 目的 :

我が国において、社会貢献活動は依然として十分に活性化しているとは言い難い。近年、著名人による取り組みは増加傾向にあるものの、「偽善と思われたくない」といった理由から、あえて表に出さないケースも少なくないのが実情である。その為、アスリート同士でもお互いにどのような社会貢献活動を実施しているのか分からず、シナジーの創出やファンの行動変容につながっていない。

一方で、スポーツやアスリートが持つ力は、社会課題の可視化や共感の喚起、行動の促進といった面で大きな可能性を秘めている。

2025 年度より HEROs は、「We Change the World」を新たなコンセプトに掲げ、アスリート自らが主体的に社会課題に向き合い、行動することを軸とした取り組みを展開しており、年間 140 回程度の社会貢献活動を実施している。さらに自ら NPO やボランティア団体を立ち上げ、社会貢献活動を主体的に実施しているアスリート・スポーツ約 50 の団体へ助成を行っている。

活動は、被災地地域におけるジュニアアスリートのボランティア参加促進をはじめ、スポーツの持つレバレッジを活かした若年層の巻き込み、さらにはミュージシャン、NPO、主要スポーツリーグとの協働によるプロジェクトの推進など、さまざまな分野のプレイヤーと連携しながら、アスリートの影響力を最大限に活用した「社会を変えるアクション」である。HEROs は、これらの取り組みを通じて、社会貢献に関わるプレイヤーの裾野を広げ、社会的インパクトの創出を目指している。

2026 年度以降は、2025 年度に築いた基盤を活かし、企業やファン層も巻き込んだ活動をさらに活性化させ、スポーツおよびアスリートが社会変革を牽引する“新たなリーダー”としての社会からの期待が高まることを目指す。

「HEROs AWARD」は、アスリート、チーム・リーグ、企業等による社会貢献活動を表彰する式典であり、2026 年度で第 10 回を迎える。

これまでの AWARD は、HEROs に賛同するアスリートを集める装置として機能をし、HEROs に参画するアスリート（呼称：HEROs アスリート）は 350 名を超え、40 を超える受賞団体、さらにスポーツチーム・リーグとのネットワーク構築に繋がっている。

10 回目を迎える HEROs AWARD では、これまでに構築してきたネットワークを用いて、スポーツ業界・アスリートが一丸となって連携する新たなプロジェクトづくり、発表、さらにそのプロジェクトに参画する仲間集めを目的とし開催したい。

### 目指すゴール①新たな連携とアクションの創出

HEROs AWARD では、社会貢献に取り組むアスリートや、将来の担い手として期待されるアスリート 180 名とスポーツチーム・リーグの責任者を招待し、競技を超

えて集まったアスリートたちが、ともに連携をして活動するきっかけを生むことを目的としている。本 AWARD では、競技を越えてスポーツ界が連携して行う具体的なビッグプロジェクトを宣言（以下、プロジェクト宣言という）し、2027 年以降の活動のモチベーションを向上させ、具体的なアクションへつなげることを目指す。

### 目指すゴール②ロールモデルと成果の可視化

社会的に注目されにくい社会貢献活動を、格式ある場で可視化すること。優れた活動のロールモデルと、HEROs プロジェクトの具体的な活動や成果を示すことで、個別で実施していた社会貢献活動から連携を生みシナジーをつくることを目指す。またメディア露出により、企業・一般市民の関心と支援を拡大させ、社会的インパクトの創出を後押しする。

HEROs AWARD10 年の節目の年であり、次の 10 年の幕開けともなる「HEROs AWARD 2026」では、これらの方針と成果を広く発信し、さらに多くのアスリートを仲間に巻き込み、次のアクションへとつなげていく。

## 3. KPI と課題

- a. AWARD 参加者がともに取り組む社会貢献活動宣言（プロジェクト宣言）の実施
- b. AWARD を起点とした新たな連携・活動の創出：10 プロジェクト以上
- c. AWARD 新規トップアスリート参加者数：70 人以上（46 名／25 年度実績）
- d. メディア露出：特集番組等、HEROs の意義を深く可視化する特集記事や番組などを 10 媒体以上（2 媒体／25 年度実績）
- e. 式典中の離席率：0%（0%／25 年度実績）

### <KPI 達成における課題>

#### 課題 1. 連携創出の仕組みづくり

これまでの AWARD においてもネットワーキングを目的として席次の工夫などを行ってきたが、挨拶や名刺交換の域に留まっており、具体的な「新しい活動」の誕生まで至るケースは依然として不十分である。参加者の熱量を具体的なアクションへ変換させるための仕掛けや、式典中・式典後のコミュニケーション設計に改善の余地がある。

#### 課題 2. レジェンドおよびスター選手の巻き込み

本プロジェクトの拡大には、社会的に影響力のある各競技のレジェンドおよびスター選手の参画が必須である。HEROs では、プロジェクトに共感しともに行動するアスリートを HEROs アスリートと位置づけ、活動を行っている。新たなレジェンドアスリート、現役スター選手が HEROs AWARD に参加し、さらに HEROs アスリートとなって HEROs へ参画することを促す施策を期待する。

#### 課題 3. HEROs の意義が伝わる PR 企画

**AWARD** 開催のストレートニュースではなく、HEROs プロジェクトや HEROs AWARD の意義、受賞活動の重要性などが伝わる質を伴った PR もしくはメディアタイアップ企画を期待する。

#### **課題 4. 学びと交流を両立する進行プログラム**

式典のプログラムやテーブル懇親中に離席して名刺交換が始まるなど、ゲストの行動をコントロールできていない。ロールモデルから学ぶ時間と、ネットワーキングの時間を最適に配分し、課題となっている懇親中の離席や名刺交換にとどまる浅い交流を防ぎつつ、満足度の高い時間を提供する必要がある。

#### **課題 5. HEROs がもたらす社会的インパクトの可視化**

2024 年度に、災害支援チーム・プラごみ削減チームを立ち上げて以降、アスリートによる活動が活発化している。一方で、それらの活動が社会的にどのような成果（インパクト）を創出したのかについての可視化は十分ではない。スポーツの価値を向上させ、アスリートへの期待値を高めるためにも、インパクトを伝える施策を実施する必要がある。さらに、各活動のインパクトを最大化させるための 2027 年の施策を発表するプロジェクト宣言を行い、より一層スポーツ界の課題解決のモチベーションを向上させることを目指す

### **4. AWARD 実施概要**

- a. 開催日：2026 年 12 月 14 日(月)  
時間は提案によるものとする。
- b. 場所：提案によるものとする。
- c. 開催形態：オフラインイベント  
ただし、オンラインによる配信等は妨げない。
- d. 参加者：  
HEROs アンバサダー、受賞アスリート、招待アスリート、リーグ、チーム関係者、アスリートの社会貢献の支援に关心を持つ企業関係者（招待客のみ）最大 250 名（HEROs 関係者 50 名、招待アスリート 130 名、スポーツ団体 50 名、その他企業や NPO 関係者など 20 名）
- e. 内容：以下の内容を必ず含めて実施するものとする。
  - ・ HEROs AWARD 2026 授与式
  - ・ HEROs の活動報告
  - ・ プロジェクト宣言
  - ・ 飲食提供
  - ・ 二次会

### **5. 業務内容**

#### **(1) 受託業者が行う業務**

上述した HEROs AWARD の目的と KPI 達成に向けた現状の課題を解消する企画および運営を行うこと。

a. 全体の進行管理（定期的な打合せの開催・出席）

- ・ 運営に関する定期的な打合せ（週に1回以上／対面およびオンラインを交えて実施）を開催し、全体の進捗確認および課題の共有、対応方針に関する協議を行う。
- ・ 受託業者は、毎回の打合せ後に決定事項と次回打合せまでの対応事項および期限を記載した打合せメモを当財団に速やかに提出する。
- ・ 全体のスケジュール管理を行う人員を配置し、定期的に進捗状況の報告を行う。

b. 招待客リストの作成・招待状の作成・発信、出欠管理

- ・ 受託業者は、当財団とともに招待客リストを作成し、参加者の出欠管理を行う。
- ・ 招待状を電子ファイルもしくは紙等で作成する。招待状にはオンライン上で出欠の返答ができる仕様にし、返答内容は当財団および受託業者が確認できるシステムを用意する。招待客リストの作成・招待状の作成・発信方法については、課題踏まえた提案を求める。
- ・ 招待客には、開催日の遅くとも二か月以上前より招待する目的（HEROs AWARD 参加者で繋がり、協力して社会課題への意識を変えていく取り組みに参加すること）を伝えるためのテキストとグラフィックを作成し、週2回程度の頻度で情報発信を実施すること。また、コミュニケーションツールなどを用いて、AWARD 当日に招待客同士の交流が活性化することを目的としたコミュニケーション設計を行うこと。
- ・ 招待客に対しては、当財団が会場内で撮影した映像・画像を HEROs および当財団の広報活動に利用することについて、事前に同意いただくこと。

c. 受賞式典プログラム企画・登壇依頼、謝金支払

- ・ 来場意欲の向上および、来場者の社会貢献意欲を高める為のコンテンツを含め、受賞式典プログラムを企画すること。
- ・ プロジェクト宣言の実施方法について効果的な手法を企画すること。また、プロジェクト宣言で発表する内容についてもよりスポーツ界が連帶した内容になるように協議の方法など多角的に企画し、サポートすること。
- ・ HEROs AWARD 2026 司会者等については候補を提案すること。
- ・ 司会者候補と選考委員会が選定した受賞者に対して登壇依頼と事前の打ち合わせを行うこと。登壇依頼にあたっては撮影した映像利用に関し、追加の利用料なく2年以上使えることを前提に交渉すること。
- ・ HEROs AWARD 2026 受賞者、司会者等のヘアメイクを手配すること。
- ・ 式典での食事のスタイルは提案によるものとする。但し、アレルギー、宗教、ベジタリアン・ビーガン等に可能な限り対応できるメニューを用意すること。見積書作成にあたっては 250 名分で費用を見積もること。
- ・ 本アワードの目的に鑑み、式典は SDGs に配慮するものとする。
- ・ アスリートミーティング（2次会）（21:00～23:00 開催予定）は、アワード近隣の会場を準備し、参加者同士の連携が生み出される企画を考え、運営すること。見積書作成にあたっては、参加人数は 140 名とし運営費・会場費・飲食費を含めて提示すること。

- 受託業者は、以下の謝金を参加者に支払うものとする。受賞アスリート、招待アスリートへの謝金（衣装代）4万円（税抜・源泉徴収前）。見積書作成にあたっては180名分、合計720万円として積算する。
- 上記のうち、遠方からの登壇者に対しては必要に応じて宿泊先を手配する。遠方からの登壇者には、旅費交通費として距離等に応じてあらかじめ定めた金額を支給する。ただし、非アンバサダーおよび非受賞者への支給額は10万円（税抜）を上限とする。
- 遠方旅費交通費支給対象人数は60名を想定し、見積書は計400万円（税抜）を計上すること。
- 謝礼金・旅費等の支払にあたっては、受託業者の責任で支払先を確認し、必要に応じてマイナンバーを取得、支払うものとする。

d. 美術造作

- 受託業者は、フォーマルパーティーを基本として、本イベントの目的を達成するための会場の全体レイアウト・デザイン（表彰式会場内およびホワイエスペースのレイアウト・デザイン含む）を作成し、それに基づいた美術造作を行うこと。
- 受託業者は、デザイン・レイアウトの考案にあたっては、会場の使用ルールを事前に十分確認し、当財団との協議のうえで最大3回程度修正することを了解すること。
- ホワイエスペースには、以下を設置することとし、必要な美術造作をすること。
  - i. HEROsプロジェクトの2026年度を含むこれまでの活動を紹介するパネル
  - ii. メディア撮影スペース
  - iii. フォトスポット

e. 進行台本・運営マニュアル作成

- 受託業者は、上記企画に基づいて進行台本を作成する。
- 受託業者は、会場の感染拡大防止ルールおよび政府・自治体の指導に基づいた運営マニュアルを作成する。また、招待者の着席順を当財団との協議によって決定し、座席表を作成すること。
- 事前に招待者から、社会貢献活動実施の有無やその内容、関心の高い社会課題等の情報を確認し、同じ領域に関心を持つ招待者同士が繋がりやすい状態をつくること。また、参加する招待者について事前に伝えること。

f. 動画制作

- 受託業者は、受賞者紹介動画を制作する（1本あたり最大3分程度、動画6本予定）。本動画は授賞式当日に上映するため、アワード一週間前までに完成させるスケジュールで製作すること。本アワード終了後、当財団YouTubeチャンネルにアップロードできるよう指定のファイル形式にて提出すること。
- HEROsが2026年度までに実施した活動と成果を伝える動画を撮影・編集すること。制作にあたっては必要に応じて、SNSの撮影・編集の業務委託先と連携すること。
- AWARDの雰囲気を醸成するオープニング映像を作成すること。

- g. 当日運営（受付・案内業務）
- ・ 当日における当財団の役割は、本アワード運営の諸事項に係る意思決定を主とし、その他の業務は受託業者にて全て実施する前提で体制を構築すること。
  - ・ 受託業者は、登壇者、招待客（財団関係者含む）、メディアのために受付ならびにクローケを設置し、受付業務を行う。
  - ・ 障害がある方も支障なく参加できるよう、当財団担当者と十分に協議したうえで合理的配慮を行う。
  - ・ 受託業者は、登壇者、招待客の安全に考慮し、警備人員を適切に配置すること。
- h. 当日運営（進行・設営業務）
- ・ 受託業者は、当日の運営に必要な機材・備品・消耗品等を準備し、会場と予め相談した日時に搬入・設営・撤去の一切を行う。
  - ・ 受託業者は、イベント中の照明・音響含めた進行業務の一切を行う。
  - ・ 障害のあるアスリートが参加する場合は、情報保障（手話通訳士の手配など）をすること。
- i. PR 業務
- ・ アワード開催前後も含めた全体 PR 戦略（ソーシャルメディア上での企画含む）の構築及び実行を行う。受賞者は AWARD 開催前に発表することが望ましい。
  - ・ 受託業者は、各自のネットワークに基づきメディアのイベント誘致及び受賞者活動への取材誘致を積極的に行う。
  - ・ PR 計画に基づいたメディアリストの事前の提出と協議（媒体を選んだ理由。どのくらいのリーチで、HEROs にとってどのような効果を見込めるか。）
  - ・ アスリートによる情報発信を目的としたソーシャルメディア(X、Instagram 等)上での企画立案及び実施。
  - ・ 本委託期間中のメディア対応（本アワード当日のアスリートへの取材対応を含む）を行う。
  - ・ 受託業者は、本アワード終了後、2027年1月末時点でのメディア露出レポート（HEROs AWARD 2026について言及された記事（インターネットメディア、新聞、雑誌、テレビ等の媒体の一覧、論調の傾向、次年度の広報課題をまとめたもの）を作成する。
  - ・ その他、本アワードへの注目度を高め次年度のエントリー数拡大に繋げるため、メディア露出を高める PR 施策を当財団担当者と協議のうえ実施する。既存の取組、コンテンツを有効活用し、効率的に実施できるものが望ましい。
  - ・ 受託業者は、HEROs 公式 WEB サイト・公式 SNS に掲載する AWARD のレポート記事を 2 本以上作成して納品すること。

(参考)

- WEB : <https://sportsmanship-heros.jp/>
- X : [https://twitter.com/HEROs\\_sportsman](https://twitter.com/HEROs_sportsman)
- Instagram : [https://www.instagram.com/heros\\_nippon\\_foundation/](https://www.instagram.com/heros_nippon_foundation/)

j. その他

- ・ 本アワードのドレスコードはセミフォーマルとする。そのため招待状にて近隣の衣装レンタルサービスを案内すること。ただし、レンタル費用は招待客の負担（謝金に含まれる）とする。
- ・ 受託業者は、当日配布するパンフレット（HEROs 概要、プログラム概要、主な登壇者が記載された 4 ページ程度のもの）を制作する。制作部数は 300 部とする。
- ・ 受託業者は、受賞者のためにトロフィーを当財団指定の業者に発注する。見積作成にあたっては、トロフィー制作費用は全体で 300 万円（50 万円 ×6 部門）（税抜）とすること。

6. 成果物

- a. 招待状
- b. 当日パンフレット（紙媒体 300 部）
- c. 運営マニュアル・進行台本等の資料一式（電子データの提出）
- d. メディア露出レポート（電子データの提出、参加メディアのリスト含む）
- e. オープニング映像
- f. 受賞者紹介動画
- g. 活動紹介映像
- h. 当日のイベントの様子を撮影した動画および写真データ

7. 提案内容

提案書の作成にあたっては、以下の項目を必ず盛り込むこと。なお、本評価には担当部署以外の者も関与するため、専門用語等はわかりやすく記載すること。

a. コンセプト案

本 AWARD のコンセプトを明示すること。

b. AWARD の構成要素

以下は必ず提案に含めることとする。ただし、他のコンテンツについても必要に応じて提案を行うこと。

・ 2027 年のプロジェクト宣言の実施方法

HEROs が 2027 年に実施する事業の発表方法を提示すること。また、提案時にはプロジェクト宣言を作成するための活動プラン（例：月に 1 回 リーグ責任者を集めて企画会議を実施する、HEROs AWARD 2026 ゲストに対して事前のワークショップを実施するなど）を合わせて提案すること。なお、宣言内容及び活動プランの進め方は日本財団担当者と協議の上、決定する。

・ 来場意欲の向上および、来場者の社会貢献意欲を高める為のコンテンツ（例：学習コンテンツなど）

・ HEROs 活動の成果報告（映像を用いること）

・ オープニング（映像）

・ HEROs AWARD 2026 授賞式

i. アスリート部門 3 名（男・女）

ii. スポーツ団体部門（チーム・リーグ・協会など）

iii. 企業部門（スポーツ・アスリートと連携した社会貢献）

・ 食事提供（形式は提案による）

- c. HEROs AWARD2026 会場造作  
HEROs AWARD の目的達成を最大化するための企画、展示等
- d. アスリートミーティング（HEROs AWARD2 次会）  
HEROs AWARD 参加者による親睦会については AWARD 式典とは別会場を用意し、移動導線と合わせて提案を行うこと。
- e. PR 施策  
HEROs や AWARD 受賞者について、理解を促すメディアタイアップなどを盛り込んだ PR 施策
- f. 当日のタイムスケジュール案  
実現可能性を鑑みた当日のタイムスケジュール案を具体的に提示すること。
- g. 食事の形式  
フードロス対策や食事中の離席止の工夫を盛り込んだうえで飲食提供スタイルを提案すること。
- h. 招待アスリート候補者リスト  
声掛けの経路を明記した上で、前述した 3.KPI と課題のうち課題 2 を解消するための施策と候補者のリストを提案書に明示すること。
- i. 広報戦略（事前、事後も含める）  
前述した 3.KPI と課題のうち課題 3 を踏まえ、広報戦略及び PR 施策の具体的な提案を求める。
- j. 類似業務の経験／能力  
本業務に類似する業務の受注実績（主に直近 2 年間のもの）、感染症対策を講じて開催した本業務に類似する業務の受注実績を提示すること。
- k. 業務執行体制／バックアップ体制  
本業務を円滑に遂行するための業務執行体制（再委託を行う場合は再委託先含む）・欠員・トラブル等におけるバックアップ体制を提示すること。なお、体制の中には、必ず制作進行管理の責任者と担当者を明記すること。
- l. 関係法令  
本業務に関連しうる法令を明示の上、以下について提示すること。当該法令に関する研修実施の有無・頻度を提示すること。マニュアル・方針・規程等の存否を記載すること。
- m. 業務責任者及び担当者の経験／能力  
責任者及び各担当者の類似業務実績（主に直近 2 年間のもの）、経歴、資格等を提示すること。
- n. 業務方法  
本業務を円滑に遂行するための具体的な業務手法を提示すること。
- o. 作業計画

本業務を円滑に遂行するための実現可能なスケジュールを提示すること。

p. コストダウン

適切な価格となるようコストダウンにつながる工夫を検討し提示すること。

### 評価時に期待する点

- ・10周年に相応しい企画とコンセプト
- ・挨拶に留まらない、具体的な新活動を生むための仕掛けがあるか
- ・プロジェクト宣言につなげるための年間の活動プラン
- ・有効的なプロジェクト宣言の企画案
- ・会場選定や2次会への導線がスムーズかつ魅力的か
- ・特集番組獲得など、質の高い露出を狙う戦略があるか
- ・これまでの活動成果をデータとストーリーで効果的に可視化できているか
- ・映像や展示のクオリティが期待できるか
- ・同規模の式典やアスリート関連業務の経験が豊富か
- ・十分な人員が確保されているか
- ・予算内で最大の効果を出すための工夫や、コスト配分の妥当性があるか

8. 予算上限

80,000千円（税込）

9. 備考

HEROs AWARD 受賞者の選定業務は本業務委託内容には含めない。なお、AWARD受賞者決定までのスケジュールは以下を予定している。

- 7月中下旬：一次審査（各部門10候補者まで絞り込み）
- 8月下旬：二次審査（各部門3～5候補者まで絞り込み）
- 9月上旬：最終審査会（受賞者の決定）

参考記事)

<https://number.bunshun.jp/articles/-/859721?page=2>

<https://number.bunshun.jp/articles/-/868844>

昨年度のHEROs AWARDのコンテンツ内容)

### 学びとつながりさらに行動を生み出す三部構成。

<p>16:00 - 19:00 / 3 Hour @グランドハイアット3F-4F <b>ACADEMIC PARTY</b></p> <p>アスリートや専門家などによるクロストークやNPOを運営するアスリートからのプレゼンテーションなど。自身の興味関心とマッチするコンテンツ体験。</p> <p>軽食提供（ビュッフェ式・アルコールあり）</p>	<p>19:00 - 20:00 / 1 Hour @グランドハイアットボールルーム <b>CELEBRATION</b></p> <p>2025 HEROsAWARD受賞者の活動を讃え、刺激を受けた。映像とスピーチを中心に、シンプルに、厳かに。</p> <p>円卓（アルコールあり）</p>	<p>20:00 - 22:00 / 2Hour @グランドハイアットボールルーム <b>AFTER PARTY</b></p> <p>ただの交流会をこえた、2026の「行動」を生み出すためのつながりの場。</p> <p>飲食（ビュッフェ式・アルコールあり）</p>
---	--	---

## HEROs AWARD 2025 PROGRAM

		ACADEMIC PARTY			@ 3F SESSION ROOM		@ 4F WORKSHOP ROOM		4F 更衣室	
16:00										
16:30		基調講演 「世界を変えるスポーツの価値」 —世界と日本が見据える、アスリートの次なる役割— <small>社会課題解決におけるスポーツの役割ヒアリーネの可能性を具体的に探求する特別セッション。 スポーツは社会を変えられる。</small>	登壇者 HEROs ブリッジ・プロジェクト ローラ・スミス・ヨーロッパ・ブリッジ・プロジェクト チャーリー・ジョン・フィットハリック 中田哲郎 HARU 理事長 / 増川健平							
17:30										
17:45		WELCOME SESSION @ 3F SESSION ROOM Welcome to HEROs team!	アスリート・プレゼンテーション @ 4F PRESENTATION ROOM ソーシャルアントレナーとして挑む社会課題 —NPO 立ち上げ・事業化・持続可能なリアルを共有—			ワークショップ @ 4F WORKSHOP ROOM 「子どもの未来を支える」 —NPO × スポーツで見える「最初のアクション」—				
18:40		登壇者 HEROs アスリート <small>HEROs の会員、参加方法、活動実績を、簡単に確認するHEROs ブリッジ・プロジェクトが解説。 HEROs に登録することで得られる様々な入門セミナー。 HEROs に登録する上での注意点。</small>	登壇者 HEROs ブリッジ・プロジェクト 上田 大輔 (リック・マクマホン) / 一般社団法人 NPO HEROs (DASH-HOOD 代表取締役) ・ブリッジ・プロジェクトの活動を実現したい方 / ノードナー ・他のアスリートとの活動に参画してみたい方 ・自身で活動を主張を上げたい、活動を事業として成立させたい方	登壇者 今村 久美 (NPO 法人 DASH-HOOD 代表取締役) 三島 道義 (NPO 法人 HEROs 代表取締役兼セミナー ハウス 代表)		NPO について知りたい方 子ども、若者等に興味がある方 チーム・ワーク・スポーツ熱心な社会的責任・行動を楽しむ方				
19:00		CELEBRATION	@ 3F CELEBRATION & AFTER PARTY ROOM	DRINK ONLY						
20:00		AFTER PARTY	@ 3F CELEBRATION & AFTER PARTY ROOM	FOOD & DRINK						
20:00										
21:30										